

JF-IETF-RFC4733

DTMF デイジット、電話トーン、 電話信号のための RTP ペイロード

RTP Payload for
DTMF Digits, Telephony Tones,
and Telephony Signals

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETF において制定された RFC4733 に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2009 年 5 月 27 日	制定

4. 工業所有権

TTC の「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2119, RFC2198, RFC2434, RFC2833, RFC3264, RFC3550, RFC3551, RFC3555

RFC3711, RFC4040, RFC4103, RFC4288, RFC4566, RFC4734

ITU-T 勧告: Q.23 (1988), Q.24 (1988), E.180/Q.35 (1998), G.711 (1988), G.723.1 (1996), G.729 (1996)

Q.931 (1998), T.38 (2003), V.8 (2000), V.150.1 (2003), V.152 (2005), V.18 (2000)

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、RTP パケットにおける DTMF(dual-tone multifrequency)信号、他トーン信号及び電話イベントの伝達方法について記述する。本標準は RFC2833 を改版する。

本標準は、RFC2833 に定義される基本フレームワークを取り込み、発展させるが最も基本的なイベントコードのみ継承する。他のイベントコードが追加可能であるように IANA 登録を用意する。

モデム、FAX、テキスト通話、及びチャネル関連の信号イベントに関連するこの登録に関連文書がイベントコードを追加する。RFC2833 で定義される残りのイベントコードは、他の文書がそれらの利用を復活させる場合に条件付で留保する。

本標準は、オリジナルの文書(RFC2833)に対し多くの明確化事項を加える。但し、全てに準拠する実装は DTMF イベントをサポートするとする要求条件の削除が RFC2833 からの大きな相違である。

その代わりに、メディアストリームコンテンツのアウトバンドネゴシエーションの追加に準拠する実装はサポートするイベントを指示する。本標準は RFC2833 のフレームワークに対し、下記3つの新規処理を追加する。

- ・長いイベントのセグメント分割
- ・単一パケットにおける複数イベントのレポート
- ・コンセプト及び状態イベントのレポート

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC4733 : 「RTP Payload for DTMF Digits, Telephony Tones, and Telephony Signals」